



昭和大学藤が丘病院

No.4



地域医療連携 ニュース

TOPICS

- 脳神経内科 診療科長就任の挨拶
- 脳神経センターのご紹介
- 脳血管障害の回復治療への取り組み
ー藤が丘リハビリテーション病院との連携ー
- 患者さんのご紹介について

地域医療連携室 TEL:045-974-6571
FAX:045-974-4325

藤が丘病院 脳神経内科 診療科長就任のご挨拶



脳神経内科 診療科長
准教授

きん の りゅう た
金野 竜太

専門分野

- 脳神経内科
- 失語症

2024年4月より脳神経内科診療科長を拝命いたしました金野 竜太と申します。私は2002年に昭和大学を卒業後、昭和大学病院で研修し、2004年からは東京大学で脳科学研究を行ってまいりました。2006年より昭和大学病院、昭和大学藤が丘病院、昭和大学横浜市北部病院で脳卒中、認知症、神経難病など多岐にわたる神経疾患の診療に携わってまいりました。診療科長としての責任を担うことで、患者様や地域社会に貢献できることを心より嬉しく思っております。

脳神経内科では2011年10月から脳神経外科とともに脳神経センターを開設しました。現在、SCUを含めて脳神経外科と共通の病棟・外来を持ち、ほぼすべての神経疾患に対応できる体制であります。また、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院と連携し、急性期治療後の脳卒中患者さんのリハビリテーションや、パーキンソン病などの神経難病患者さんにおける短期集中リハビリテーションも行っております。

昨年度より新規アルツハイマー病治療薬「レカネマブ」が使用可能となりました。当科では、認知症に精通した医師の診察のもと、脳MRIや脳血流シンチを用いた画像評価、脳脊髄液中のアミロイドβの測定と、昭和大学藤が丘リハビリテーション病院スタッフによる神経心理学的検査を組み合わせ、正確で詳細な背景疾患の診断と認知機能評価を行っております。多くの方々に治療の機会を提供できるように体制を整えてまいります。

近年、超高齢社会を迎えて脳卒中や認知症に代表される神経疾患が増加しており、脳神経内科医の需要は高まっております。また、診断技術の向上や新しい治療薬の開発により、以前は治療が難しかった神経疾患でも治療できる時代です。藤が丘病院脳神経センターは、患者さんの健康と幸福を第一に考え、脳卒中や認知症を含むあらゆる神経疾患に対応し、最高水準の医療とケアを提供することを約束します。今後ともよろしくお願い申し上げます。

脳神経センターのご紹介



脳神経センター長

脳神経外科 診療科長

教授 津本 智幸

脳神経センターは、脳神経外科医師 7 名、脳神経内科医師 12 名が所属する神奈川県でも大きな脳神経センターの一つです。脳血管障害、脳神経変性疾患を中心に診療にあたっております。

当センターには、脳神経外科専門医 4 名、脳神経内科専門医 8 名、脳卒中専門医 3 名と専門性の高い医師が 24 時間 365 日、脳神経・卒中診療にあたっております。また当院の脳神経センターは毎年 PSC コア施設に認定されており、脳卒中相談窓口を開設し、3 名の脳卒中療養相談士が常勤しており、脳卒中発症初期から慢性期に至るまでの患者相談をおこなっております。



脳神経内科

昭和大学藤が丘病院脳神経内科には、日本神経学会指導医 2 名、同専門医 8 名、日本認知症学会専門医 1 名が所属し、脳神経内科における急性疾患から慢性疾患まで幅広く診療を行っております。

急性疾患については、脳神経外科との協働体制で脳卒中に特化した診療を実践しており、24 時間 365 日体制で脳梗塞の超急性期～急性期の治療に対応しています。「すべての脳卒中患者さんを受け入れる」ことを目標として取り組んでまいりたいと考えております。その他にも、頭痛、めまい、けいれんなどの発作性疾患、髄膜炎・脳炎などの診療も 24 時間体制で行っております。

慢性疾患については、認知症やパーキンソン病などの神経変性疾患、多発性硬化症など脱髄疾患、末梢神経・筋疾患など様々な神経疾患の診療に対応しています。また、2022 年からは神経難病に対する短期集中リハビリテーション治療も開始いたしました。

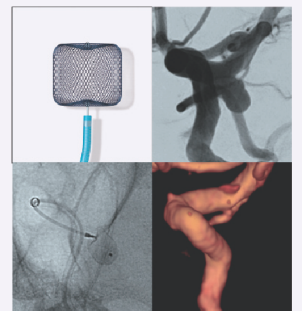
全ての神経疾患に対応できる診療体制を継続し、地域医療へ更に貢献できる診療科を目指して行きたいと思っております。



脳神経外科

当科の特徴として「脳血管内治療」と「開頭手術」を組み合わせたハイブリッドな脳神経外科診療を行っております。大学病院としての先進的な治療を心がけるとともに、来院されるみなさまに安心していただけるよう「自身の家族であればどうするか」を心がけて診療しております。

現在多くの脳血管障害が脳血管内治療で治療可能になっております。特に脳動脈瘤に関しては、血管内治療の進歩は著しく、当科ではすべてのフローダイバーター、全国で先端施設のみに限定されている W-EB など最新の血管内治療を提供でき、良好な結果を得ております。また脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻などに対する塞栓術なども専門にしております。硬膜動静脈瘻に関しては、「耳鳴り」「眼球の充血」など軽微な症状で発症することも多く、診断に苦慮する場合がありますので、これらの症状がありましたら、一度当科にご相談下さい。



図：W-EB を用いた最新脳動脈瘤治療

脳血管障害の回復治療への取り組み ー藤が丘リハビリテーション病院との連携ー

リハビリテーション科での取り組み

藤が丘リハビリテーション病院の96床の回復期リハビリテーション病棟では、現在50%ほどの脳血管障害患者の入院を有しており、今後藤が丘病院との連携を強化し脳血管障害患者割合の増加を目指しています。

藤が丘病院の担当医師やセラピスト、その他医療職種と、SCUカンファレンスや病棟からの転院依頼に応じて患者情報の共有を行い、急性期治療後に速やかに回復期リハビリテーション病棟へ入棟できるよう連携を行っています。脳血管障害患者の多くが生活期では様々な障害に悩まされ、歩行障害、ADLに対する早期アプローチが生活期での活動の幅を広げると考えられています。急性期からの治療の継続に加え、回復期リハビリテーション病棟ではさらに生活期を想定した環境調整を行い、生活期のスタートを支援しています。

生活期から急性期、回復期へとシームレスな医療の実践、さらに回復期から生活期へと再び生活を始める患者さんを支援しております。



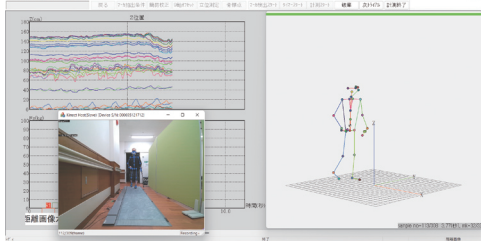
藤が丘リハビリテーション病院
リハビリテーション科

すぎ やま
杉山 みづき

リハビリテーションセンターでの取り組み



計測の様子



計測画面

藤が丘リハビリテーション病院には、急性期治療を終え、さらなる身体機能の改善や日常生活動作能力の向上を図ることを目的に、理学療法士41名、作業療法士25名、言語聴覚士11名のセラピストが所属しております。

当院では入院する前から藤が丘病院スタッフと連携を取り、急性期からシームレスなリハビリテーション治療を行うだけでなく、入院後早期に嚥下造影検査、装具診察を実施しております。そうすることで、変化する嚥下機能に応じた食事形態や介助下での積極的な歩行リハビリテーション治療の提供を可能にしています。

加えて看護師と協働し、病棟でトイレ動作や更衣動作といった生活動作訓練を実施することで、リハビリテーション時間だけでなく食事面も含めた入院生活全体を通して患者さんの活動量や機能の向上を促進しています。さらに今年度から動作解析装置を導入し、客観的なデータに基づいた質の高いリハビリテーション治療を可能にする新たな取り組みをはじめています。

また、退院の際は医師とリハビリテーションスタッフが共に自宅などの退院先に出向き、環境の調整や福祉サービスとの連携を図り退院後の生活をスムーズに送れるよう支援しています。

(文責：藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーションセンター 本島 直之)



入院リハビリテーション室

患者さんのご紹介について

医療機関より当院に患者さんをご紹介いただく場合、下記 2 つの方法による予約が可能です。

※受付時間 月曜日～土曜日 8:30～17:00



電話で予約する：045-974-6571

- 上記医療機関専用電話回線へご連絡ください。
- 患者さんの情報等を確認させていただき、ご予約をお取りいたします。なお、当日のご予約はお取りしていませんので受診希望の方は上記お問合せ先にご連絡ください。



FAXで予約する：045-974-4325

- 「患者保険情報連絡票」をFAX送信してください。「患者保険情報連絡票」は当院ホームページからダウンロードが可能です。
- 予約状況確認後、予約票兼連絡票をFAXいたしますので患者さんにお渡しください。
- 15分以上経過しても予約票兼連絡票が届かない場合、お手数ですが地域医療連携室までご連絡ください。

当日の緊急性のある患者さんのご紹介について

緊急性のある紹介患者さんの受け入れについて、地域医療機関より地域医療連携室へご連絡ください。直接医師同士でお話しいただくことも可能ですので、必要な際はお申し付けください。

- 時間外(17:00～翌8:30)・日曜日・祝日・創立記念日(11/15)は救命救急センターにつながります。

ホットラインについて

当院では3次救急に対応する救命救急センターの他に、直接医師にご相談いただける心臓ホットライン、脳卒中ホットラインを設けております。緊急疾患が疑われる際はご活用ください。

急性心筋梗塞などの緊急疾患が疑われる場合

心臓ホットライン：070-5557-6035

脳卒中など緊急疾患が疑われる場合

脳卒中ホットライン：070-5015-3583

脳神経外科医もしくは脳神経内科医が24時間365日対応させていただきます。

